

## 第7回宮古市中心市街地拠点施設市民検討委員会 議事録

1. 日時 平成27年2月12日（木） 15時00分～17時00分
2. 場所 本庁舎6階大ホール
3. 出席委員 15名  
澤田克司、小野寺文雄、盛合敏子、林本卓男、中野正隆、伊藤和榮、  
山下修治、佐香英一、高橋雅之、横田大樹、鈴木光子、岩田博子、金野侑、  
平藤一氏幸、望月正彦
4. 事務局出席者 8名  
総務企画部長 佐藤廣昭、企画課長 山崎政典  
同課市街地施設推進室長 岩間健、同室主任 竹田真人  
都市整備部都市計画課復興拠点整備室長 多田康  
同室主幹 高橋正浩、主任技師 田道秀一、主事 中尾和子  
(委託業者)  
パシフィックコンサルタンツ株式会社 3名  
株式会社千代田コンサルタント 2名
5. 傍聴者 5名
6. 議題 (1) 宮古市中心市街地拠点施設整備事業・基本計画（案）について  
(2) その他
7. 議事録（要旨）  
(1) 宮古市中心市街地拠点施設整備事業・基本計画（案）について

主な意見及び質疑事項	
<b>質疑</b>	・「一時避難者数の推計」の資料で、拠点施設を避難場所とする避難エリアを示しているが、まち全体の計画はどうなっているか。避難タワー等の整備も含めて、より良い計画となっているか。
<b>回答</b>	・資料は、拠点施設を整備後に避難場所とする見込みで作成している。現在も、各エリアで高台などの指定避難場所を定めているが、危機管理課では、市内全域で避難計画等の見直しを行っている。避難場所ごとの避難エリアは、避難場所までの距離や避難に要する時間に配慮することだが、それらをまとめるにあたっては、地域住民の意向を踏まえて作成すると聞いている。
<b>質疑</b>	・資料3に、「地域総合型スポーツクラブ」とあるが、用語自体を知らない方もいると思うので、解説を加えてはどうか。
<b>回答</b>	・宮古市では、体育協会が認定を受けており、会員数も800人程登録があるはずである。NPO等の取り組みも聞いている。ご意見を受けて、資料を修正したい。
<b>質疑</b>	・災害があったときに、防災・災害対応の用途に転用する計画であるが、他自治体の施設

で、同様の施設を整備している事例はあるか。

**回答**

・復興交付金を活用する施設であり、そのような対応が求められる。大船渡市などでも、同じ復興交付金のメニューを使って、施設整備を計画している。一時避難人口の推計は、施設の面積や必要性を説明する基礎資料となる。

最近の庁舎の整備事例でも、「防災に強い」「市民の安全・安心を守る」といった部分の基本理念は共通している。

市庁舎は、市民が逃げ込む施設にはならない。市職員は、災害対策本部員となる。防災・地域活力創出拠点施設が、一時避難場所となる。

**質疑**

・大震災を受けて、その反省を活かして、施設整備をしようとする事項はあるか。

**回答**

・色々な教訓があるが、一番は災害発生後に災害対策本部である市庁舎が一時的に孤立し、支援体制に遅れをとったことである。これらの教訓を活かすような計画としたい。

**質疑**

・事業費について、説明があったが、規模が大きすぎて判断できない。宮古市の財政状況がどうなっているか、この事業が市財政へどれだけ影響するのか、分かるような資料として欲しい。

**回答**

・財政担当で整理をしているところである。記述を追加したい。

**質疑**

・資料 17 に事業の推進体制が掲載された。これまでも説明があったと思うが、改めてみると、市の内部で意思決定されていくようなイメージに感じてしまう。

**回答**

・庁内では、整備検討委員会や専門部会を開催するほか、各担当課と個別に協議を行っている。事業推進にあたっての一番の重要事項として、市民説明会やパブリックコメント、市民アンケートでの意見募集、「広報みやこ」での情報発信など、市民参画を事業の基本としている。

**質疑**

・他自治体の計画等も拝見しているが、それと比べても丁寧な構成、資料となっていると感じている。ただし、市財政への影響については、表現が足りない。財源的に余裕があれば、より良い施設を作り、職員も働きやすい環境をつくるべきと思うが、宮古市は決して裕福ではないと思う。

アクセス道路の関係や現庁舎の解体、跡地整備と今後も予算は必要である。人口問題と経済は一体で考えるべきである。地方創生の資金を国から援助されることになっても、地元負担は必ず生じる。せっかく良いプランがあっても、予算に余裕が無ければ、プランを実行できない。

平成 30 年までに、商店街は半減する。商店街だけでなく、市としても立ち行かない状況になる。まち全体が体力を失ったときに、使うお金として、いくら残っているのか提示

されないと、本事業の影響も判断できない。

維持管理についても、記述が少ないが、建てて終わりではなく、維持していくことが最も重要であるので、しっかり費用を示してほしい。

#### 回答

・長期財政計画、維持管理経費、付帯的な事業の経費について整理して、記載内容を修正したい。

#### 質疑

・散策ルートの例だが、例えば、横町のルートはバリアフリーになっていないので、散策に適さないのではないか。

事業費については、本事業の経費を削減し、市街地活性化の一助となる取り組みを新たに検討してはどうか。例えば、商店街の電線の埋設化はどうか。地域が活性化するし、例えば、秋まつりも、電柱が邪魔で制約が生じており、それらも解消される。

#### 回答

・電柱の埋設化については、昔から議論されてきた。電線を地中化する場合は、歩道に埋めなければならない。現在、末広町には歩道の位置づけは無い。歩道指定するためには、終日一方通行にするなどの対応が必要。

また、経費に関しても、整備費用自体は、約10億程度となる試算だが、用地補償などの諸経費を足すと、全体で100億規模の事業となる。現実的には厳しいが、ご意見は都市計画担当にも伝えたい。

#### 意見

・保健センターと宮古病院、保健所との連携はどうなっているのか。被災したために、その面積分を復旧するという考えであるが、本当に必要な機能と整理しているのか。

#### 回答

・医療機関ではないので、むしろ、福祉課、介護保険課との連携、保健福祉部内の連携が必要であると認識している。職員の体制は勿論、関係する部署が配置される本庁舎と保健センターが複合化されることは、来訪者にとっても非常に便利である。

保健指導などの保健センターの取り組みは、基本計画でも機能を整理しているが、それらは市民の健康を守るために必須な事業であり、被災前もこれらの事業を実施する諸室が手狭であったという反省がある。ただし、財政への影響も考慮して、補助を受けられる範囲において整備し、効率的に活用できるような間取りや配置を検討したい。

#### 意見

・基本設計のプロポーザルは、どこの範囲の業者を対象とするのか。

#### 回答

・基本計画策定業務についても、公募型プロポーザルを実施した。登録業者であれば、全国の業者が参加可能である。基本設計でも同じ形式を取ることになる。

<p><b>質疑</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・合併特例債については、10年延長可能と解説されているが、実際はいつまで使えるのか。</li> </ul> <p><b>回答</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被災地では10年延長が可能であるが、宮古市では平成31年までの5年間の延長を計画している。</li> </ul>
<p><b>質疑</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最大で平成36年まで合併特例債を活用できるのであれば、今事業をやろうとすること自体が間違いではないか。何十年に1度の大事業で様々な波及効果があると思うが、現在地元の業者は、手一杯の状態ではないか。</li> </ul> <p><b>回答</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・財源やスケジュールなどの様々な要素を勘案し、今考えているスケジュールがベストと判断している。説明不足な部分もあるので、丁寧に説明していきたい。</li> </ul>
<p><b>質疑</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・CM方式の説明があつたが、実際はどういった業者が対象となるのか。</li> </ul> <p><b>回答</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援型のCMについては、CM資格を有するコンサル業者になるが、別会社としてCM会社を持っているところ、組織内部にCM部門を置いているところがある。契約者を選定する場合は、工事の設計だけでなく、工事監理も含めて、しっかりとした実績をもった会社を選定する必要がある。</li> </ul>
<p><b>質疑</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・財政調整基金の残高はどうなっているか。</li> </ul> <p><b>回答</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年末で約88億円を見込む。</li> </ul>
<p><b>質疑</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・跡地の利活用については、財源の問題もあるが、方向性を早目に示してほしい。交通対策として、八幡沖踏切の改良は、前向きに検討を進めて欲しい。</li> </ul> <p><b>回答</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・跡地活用については、ワークショップなどで意見を出し合って検討していきたい。ただし、今年度までに計画策定というのは難しいので、時間をいただきたい。</li> </ul>
<p><b>質疑</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブルーチャレンジプロジェクトという取り組みを聞いたことがあるが、例えば、電力を全て、自給自足にするなど、省エネルギーの計画はあるか。</li> </ul> <p><b>回答</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担当課では、セムスと呼ばれ、地域一体で電力を管理運用するシステムを検討したり、電力の自給自足を基本とした地域新電力の設立にも関わっている。市でも力を入れている事業であり、費用対効果なども検証しながら、それらと連動できる省エネルギーの取り組みを今後検討したい。</li> </ul>

(2) その他（事務局から）

市民ワークショップに関する進捗状況を説明する。また、市民説明会及びパブリックコメントの実施について説明する。

次回第8回は、3月20日15時、分庁舎3階大会議室を予定する。以上、閉会。